

徳島文理大学（１） ノーベル平和賞から戦争と向き合う若者たちを育てる

1 目的

学習指導要領〔公民的分野〕は、「民主主義の基礎には個人の尊厳と人権の尊重という考え方があり、それが法によって保障されていること、また、自らが自らを治めるという民主政治の基本となる考え方は、現代の国家においては国民によって選出された代表者が治めるという代表民主制の仕組みに反映されていること」（解説）を理解させるという。ノーベル平和賞が日本の被団協に与えられた今、法による人権の尊重の意味、それが無視された戦争について再確認したい。

徳島教育大綱及び徳島県教育振興計画（第4期）との関連について
重点項目Ⅴ－推進項目15-③〇教員の安定的な確保と資質向上に向けた取組

【関連する「とくしま教員育成指標」の資質・能力の項目】

〇素養「A 使命感・倫理観」「B 識見・学び続ける力」「D 学校組織マネジメント力」

ト力」

〇授業力・学習指導「C 授業実践力」

〇担任力・生徒指導「C 課題解決力」

2 主催

徳島文理大学、徳島県教育委員会

3 期日

令和7年7月30日（水）

4 会場

徳島文理大学 徳島キャンパス 2号館 2階 アカンサススタジオ

5 対象者

(1) 職種 教職員

(2) 校種 中・高・中等

(3) 定員 40名

6 内容

(1) 戦争についてのプレゼン映像3篇

(2) ハンムラビ法典からノーベル平和賞へ

(3) アインシュタインと核戦争

7 講師

徳島文理大学 総合政策学部 教授 青野 透（日本防災士会徳島県支部会員）

8 日程

9：30～9：50 受付（2号館 2階 アカンサススタジオ）

9：50～10：00 開会、イントロダクション

10：00～12：00 講義①

内容 「オバマ大統領のヒロシマ演説」、高校生が制作した映像、

城東高校放送部の「茜色の証人」、広島の本トルダム清心高等学校の「同じ地面を踏みしめて」の戦争についての映像3篇を視聴する。

12：00～13：00 昼食

13：00～14：30 講義②

内容 人類の最初の人権文書ともいえるハンムラビ法典について振り返り、昨年、ノーベル平和賞を受賞した被団協の活動について考察を行う。

14：40～15：50 講義③

内容 原爆投下から80年、アインシュタインが85年前にアメリカ政府に原爆の開発を求めた文書と、それ以前に彼がフロイトと交わした「戦争と平和、そして人間の本性について語り合った」書簡を紹介し、全体で協議を行う。

15：50～16：00 リフレクション、閉会

9 準備物

筆記用具等（署名ができるボールペン等を準備してください。）

10 その他

(1) やむを得ず欠席する場合は、あらかじめ管理職（緊急の場合は本人）が担当者まで電話連絡し、管理職は、速やかに欠席届をメールに添付して提出してください。送付は、学校代表メールアドレスもしくは管理職のメールアドレスから行うようにしてください。欠席届の様式は、Plantの該当研修のページ又は、総合教育センターのWebサイト（令和7年度研修講座一覧「とくしま教職員研修」33ページを参照）からダウンロードできます。

送付先

【教諭、栄養教諭、学校栄養職員】徳島県立総合教育センター教職員研修課

kyoushokuinkenshuu@g.tokushima-ec.ed.jp

【養護教諭】徳島県教育委員会体育健康安全課

taiikukenkoanzenka@pref.tokushima.lg.jp（県立校からJoruriメールでの送信

時に使用）

taiikukenkoanzen@g.tokushima-ec.ed.jp（上記以外に使用）

(2) 研修当日、出発地又は研修会場までの経路を含む地域に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表されたことにより旅程に支障がでる場合は、管理職を通して電話連絡してください。欠席の場合は(1)の手順に従ってください。

(3) 服装は、研修にふさわしい服装で参加してください。5月～10月に実施する研修についてはエコスタイル(夏はノー上着・ノーネクタイ等)で結構です。

(4) 研修当日、午前7時の時点で研修会場を含む地域(徳島文理大学の場合は「徳島市」地域)に、特別警報又は暴風警報、大雪警報が発表中の場合は、その日の研修講座等は中止します。後日、振り替えて実施することはありません。

(5) 昼食は、近辺でとるか、各自で御用意ください。

(6) 徳島文理大学の駐車場は利用できません。近辺の民間の駐車場等を御利用ください。

(7) 本研修講座は、ミドルリーダー研修受講者が選択する研修講座として受講可能な研修講座です。

《担当者》 教職員研修課 宮城 久子 088-672-6419